

ことばに障害のある幼児児童生徒の教育

特定の語音を正しく発音することが難しい、あるいは、ことばの発達が遅れているなどの幼児児童生徒には、「聞く」「話す」「読む」「書く」過程における障害の状況やコミュニケーション能力等の実態を十分に把握し、言語能力を高めるための、発音や発語の指導を行います。



◎指導や支援の留意点

- ・話しやすいように、楽しい雰囲気や好ましい人間関係づくりに配慮します。
- ・話し方ではなく、内容に耳を傾けるようにし、幼児児童生徒が話し終わるまで丁寧に聞くようにします。
- ・幼児児童生徒の興味・関心に応じた自由な遊びや会話を通して、正しい発音や楽に話す方法を指導します。